

EU（欧州連合）5ヶ国における対日世論調査 （英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ）

平成15年4月
外務省
大臣官房海外広報課

序

外務省によるEU（欧州連合）主要国を対象とした対日世論調査は、昭和52年11月、英国、西ドイツ、フランス、イタリア、ベルギーの5ヶ国を対象に第1回調査を実施。また、第2回はこれにオランダを加えて昭和57年1月、第3回は更にスペインを加えたEC（欧州連盟）7ヶ国を対象として昭和61年1月、2月に実施。その後、右7ヶ国対象の調査は昭和63年2月から3月に第4回、平成元年1月から3月に第5回、2年9月、10月に第6回、5年3月から5月に第7回（同回よりドイツには旧東ドイツ地域を含めた）、平成8年9月～12月に第8回を実施。

今回の調査は、第9回目を数え、英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダの5ヶ国における有識者（政、官、学、経済、法曹、労組、マスコミ界等）を対象として、下表のとおり昨年3月から6月にかけて実施したものである。

なお、比較できる設問については、前回及び前々回の数値を記載した。

事項/国名	英 国	ドイツ	フランス	イタリア	オランダ
委託機関	G A L L U P	Infratest dimap	Taylor Nelson Sofres	D O X A	N I P O
時期	平成14年5月、6月	平成14年3月	平成14年4月、5月	平成14年3月	平成14年3月
方法	電話調査	電話調査	調査票郵送調査	電話調査	調査票郵送調査
対象者数	4 1 5	6 1 0	7 1 3	6 0 0	6 2 4

1.対日関係全般

質問1：日本はどのような国だと思うか（複数回答可）

（単位%、左括弧内は前回（平成8年）、右括弧内は前々回（平成5年）調査数値）

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
平和な国	56 (3) (28)	87 (35) (35)	17 (13) (9)	10 (6) (5)	15 (10) (11)
自由で民主的な国	49 (1) (19)	87 (38) (33)	15 (12) (9)	10 (6) (4)	8 (5) (5)
豊かな伝統・文化を持つ国	77 (7) (76)	100(89) (91)	78 (76) (74)	57 (50) (42)	75 (72) (67)
経済力・技術力があり、生活水準の高い国	76 (29) (79)	90 (89) (94)	73 (87) (84)	52 (51) (48)	55 (79) (78)
文化的に西欧と異なり不可解な国	40 (9) (72)	52 (13) (14)	43 (26) (30)	23 (26) (30)	48 (49) (53)
その他（分からない、無回答含む）	2 (83) (7)	0 (8) (5)	1 (5) (7)	1 (0) (1)	6 (7) (5)

全ての国において、過去の調査と比較して日本に対するイメージに大差はなく、日本は「豊かな伝統・文化を持ち」、「経済力・技術力あり、生活水準の高い」国と見られている。

質問2：日本人はどのような特徴を持つと思うか（複数回答可）

（単位%、左括弧内は前回（平成8年）、右括弧内は前々回（平成5年）調査数値）

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
勤勉	56 (73) (91)	98 (96) (95)	86 (92) (91)	51 (57) (55)	89 (93) (93)
誠実	16 (11) (21)	47 (8) (5)	4 (4) (4)	8 (5) (2)	8 (9) (7)
開放的で親切	6 (4) (5)	85 (29) (34)	5 (6) (5)	22 (15) (12)	6 (2) (9)
創造的で 活力がある	13 (30)(22) 27	72 (49) (58)	72 (37) (46)	26 (27) (26)	25 (25) (24)
島国的性格で閉鎖的	14 (19) (57)	50 (35) (33)	32 (41) (36)	23 (22) (20)	13 (14) (20)
その他（分からない、無回答含む）	0 (15) (8)	0 (7) (4)	2 (8) (10)	2 (3) (3)	13 (27) (12)

全ての国において、過去の調査と比較して日本人に対するイメージに大差はなく、「勤勉」との見方が第一位。また、「創造的で活力がある」とのイメージが二番目に強く、ドイツでは「開放的で親切」であるとのイメージも強い。その他の例示として、ドイツでは、「丁寧・親切」、「努力家」、「好奇心旺盛・率直」等、フランスでは、「伝統を守る」、「保守的」、「上下関係を守る」等あり。

質問3：日本についての知識は主としてどこから得ているか（複数回答可）

（単位%、左括弧内は前回（平成8年）、右括弧内は前々回（平成5年）調査数値）

事 項 / 国 名	英 国		ド イ ツ		フ ラ ンス		イ タ リ ア		オ ラ ン ダ	
テレビ	79		39		64				82	
ラジオ	55	(62) (58)		(61) (52)		(63) (55)	67	(58) (58)		(75) (61)
映画	47		24		27				20	
新聞	90	(43) (83)	70	(83) (80)	75	(78) (81)	55	(59) (67)	82	(86) (88)
雑誌・書籍等出版物	80									
友人・知人等の話	32	(10) (23)	43	(30) (37)	10	(16) (19)	13	(7) (8)	14	(14) (19)
日本人との交際	37	(9) (37)	67	(54) (51)	29	(42) (37)	8	(13) (9)	13	(23) (27)
日本への滞在経験	21									
インターネット等マルチメディア	51	(4) (0)	13	(1) (0)	6	(2) (0)	18	(4) (0)	14	(3) (0)
その他（分からない、無回答含む）	43	(21) (0)	6	(9) (0)	2	(1) (0)	0	(0) (0)	7	(17) (0)

各国とも「インターネット等マルチメディア」の割合が増加している。ドイツを除き、テレビ・ラジオから情報を入手している者が増加する一方で、新聞・雑誌・書籍等出版物の高い影響力が確認される。その他の例示では、英国では「学校教育」との指摘が多く、フランスでは「学問・スポーツ」との回答。

質問4：どの分野で日本を知っているか（複数回答可）

（単位%、左括弧内は前回（平成8年）、右括弧内は前々回（平成5年）調査数値）

事 項 / 国 名	英 国		ド イ ツ		フ ラ ンス		イ タ リ ア		オ ラ ン ダ	
政治・外交	37	(3) (21)	50	(38) (54)	63	(25) (18)	7	(6) (6)	21	(18) (24)
日本製品	54	(-) (69)	75	(64) (70)	89	(57) (67)	50	(60) (59)	58	(61) (64)
日本の進出企業	57	(48) (50)	52	(47) (38)	81	(33) (35)	28	(24) (20)	35	(31) (30)
文化・芸能	37	(17) (23)	57	(12) (17)	74	(28) (28)	28	(22) (22)	23	(18) (21)
スポーツ	13		19		38				16	
科学・技術	33	(15) (24)	68	(35) (29)	74	(24) (32)	40	(30) (32)	21	(15) (14)
その他（分からない、無回答含む）	0	(33) (0)	0	(8) (0)	0	(13) (0)	6	(0) (3)	16	(7) (0)

各国ともに「日本製品」及び「日本の進出企業」との回答が多く、依然として経済面である。その一方、幾つかの国では、「文化・芸能」、「科学・技術」、「政治・外交」との回答増加が顕著であり、多様化の傾向が見られる。

質問5：日本に関してもっと知りたいと思う分野はどれか（複数回答可）

（単位％、左括弧内は前回（平成8年）、右括弧内は前々回（平成5年）調査数値）

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
現代日本の社会・生活	76 (16) (54)	69 (61) (52)	73 (55) (59)	50 (38) (42)	66 (69) (72)
日本の政治・外交	67 (4) (32)	57 (28) (23)	27 (22) (21)	10 (8) (8)	29 (24) (24)
日本経済	75 (7) (38)	54 (35) (37)	23 (30) (42)	12 (12) (14)	20 (25) (26)
日本文化・芸能	68 (34) (32)	80 (40) (41)	60 (44) (40)	42 (41) (37)	37 (36) (28)
日本の科学・技術	60 (13) (28)	66 (34) (33)	20 (19) (21)	22 (30) (28)	18 (18) (14)
その他（分からない、無回答含む）	23 (46) (5)	0 (5) (3)	1 (2) (5)	3 (1) (2)	11 (5) (6)

全般的に「現代日本の社会・生活」、「日本文化・芸能」との回答が多い。英国及びドイツにおいては、「日本経済」、「日本の政治・外交」及び「日本の科学技術」への関心も高い。

質問6：日本は信頼できるか

（単位％、左括弧内は前回（平成8年）、右括弧内は前々回（平成5年）調査数値）

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
信頼できる	24 (18) (12)	48 (34) (36)	10 (7) (4)	56 (51) (38)	37 (32) (26)
どちらかと言うと信頼できる	68 (30) (45)	42 (52) (57)	64 (55) (53)	25 (21) (43)	40 (49) (61)
どちらかと言うと信頼できない	- (12) (31)	4 (8) (4)	20 (31) (33)	11 (15) (7)	9 (5) (10)
信頼できない	3 (20) (10)	1 (1) (2)	2 (4) (9)	5 (8) (7)	2 (3) (3)
その他（分からない、無回答含む）	5 (20) (2)	5 (6) (1)	4 (3) (1)	3 (5) (5)	13 (11) (0)

（注）英国に関しては、「どちらかと言うと信頼できない」の選択肢なし。

今回及び過去2回の調査において、すべての調査対象国で「信頼できる/どちらかという信頼できる」を合計した割合が「信頼できない/どちらかという信頼できない」を合計した割合を大きく上回っており、また、全般的に「信頼できる/どちらかという信頼できる」の回答が増加傾向にある点が注目される。

2. 国際社会と日本

質問7：日本は相応の国際的役割を果たしていると思うか

(単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
果たしている	24 (16) (17)	9 (20) (41)	4 (4) (20)	34 (41) (49)	9 (22) (26)
どちらかと言うと果たしている	45 (21) (0)	26 (31) (0)	21 (18) (0)	21 (18) (0)	43 (29) (0)
どちらかと言うと果たしていない	18 (12) (0)	41 (43) (0)	57 (61) (0)	20 (12) (0)	23 (18) (0)
果たしていない	9 (19) (65)	19 (5) (58)	8 (14) (71)	11 (16) (29)	9 (19) (57)
その他(分からない、無回答含む)	4 (33) (18)	5 (2) (1)	10 (3) (9)	14 (13) (22)	16 (12) (17)

「果たしている/どちらかと言うと果たしている」という肯定的な回答は、英国では7割程度と高かったが、イタリア及びオランダでは増加傾向にはあるも5割程度、ドイツ及びフランスでは3割程度にとどまった。

質問8：日本が国際的貢献をもっと果たすべきと考える分野はどれか(複数回答可)

(単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
世界平和の維持	50 (38) (54)	81 (52) (72)	57 (51) (55)	38 (34) (35)	49 (44) (45)
対テロリズム	39 - -	69 - -		28 - -	27 - -
世界経済の発展	47 (25) (70)	72 (48) (67)	36 (48) (56)	30 (31) (35)	38 (41) (56)
途上国援助	43 (37) (61)	82 (58) (82)	53 (65) (74)	42 (40) (40)	49 (54) (63)
文化交流	21 (13) (22)	73 (21) (24)	30 (18) (15)	22 (18) (17)	24 (26) (14)
科学技術の発展	40 (19) (20)	57 (12) (24)	20 (17) (14)	37 (35) (31)	17 (10) (6)
地球環境保全	61 (46) (76)	89 (64) (75)	65 (49) (51)	40 (29) (31)	56 (58) (52)
その他(分からない、無回答含む)	0 (0) (0)	0 (0) (0)	0 (0) (0)	1 (2) (1)	5 (0) (0)

(注) 選択肢に対テロリズムを新たに追加した。

「地球環境保全」との回答が増大、イタリアを除く4カ国で第一位、イタリアでも第二位。「世界平和の維持」との回答も多い。過去2回の調査に引き続き「途上国援助」との回答も多いが、回答割合の伸び率は低く、フランス、オランダでは昨年より低下。

質問 9：日本はどのような安全保障政策を取っていると考えるか

(単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
強力な独自の軍事力を持ち独力で	14 (21) (7)	6 (4) (8)	10 (7) (11)	26 (22) (18)	15 (11) (9)
ある程度の自衛力を持ちながら米国と同盟して	42 (20) (37)	55 (68) (75)	36 (46) (45)	31 (33) (29)	37 (44) (40)
専ら米国の軍事力を頼りにして	4 (2) (3)	12 (8) (7)	12 (15) (8)	5 (11) (3)	3 (2) (3)
大きな軍事力を持たず、米国・中国・ロシアの間で中立政策をとって	34 (23) (42)	23 (16) (7)	22 (20) (27)	32 (30) (40)	25 (29) (37)
その他(分からない、無回答含む)	6 (34) (11)	4 (5) (4)	20 (12) (9)	6 (4) (10)	20 (15) (11)

「ある程度の自衛力を持ちながら米国と同盟して」、「大きな軍事力を持たず、米国・中国・ロシアの間で中立政策をとって」が各国とも回答の第一位と第二位を占めた。

3. 日・EU関係

質問 10：日・EU関係全般の現状をどう考えるか

(単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
非常に良好である	3 (1) (1)	2 (0) (0)	2 (0) (0)	12 (7) (4)	1 (1) (0)
どちらかと言えば良好である	52 (15) (21)	27 (24) (23)	42 (19) (9)	34 (34) (29)	50 (44) (23)
普通	39 (42) (44)	54 (58) (64)	53 (65) (50)	38 (35) (29)	46 (47) (54)
どちらかと言えば良好でない	4 (21) (31)	11 (16) (0)	2 (14) (38)	13 (19) (29)	2 (7) (22)
非常に悪い	1 (2) (2)	1 (1) (1)	0 (0) (3)	1 (2) (4)	0 (1) (1)
その他(分からない、無回答含む)	1 (19) (1)	5 (1) (12)	1 (2) (0)	2 (3) (5)	1 (0) (0)

前二回の調査では「普通」の割合が高かったが、今回の調査では「どちらかと言えば良好である」の割合が増大(特に英国、フランス、オランダ)。また、全ての国において、「非常に良好である」と「どちらかと言えば良好である」を合計した割合が「どちらかと言えば良好でない」と「悪い」を合計した割合を上回った。

質問 1 1 : 今後、日・EU関係はどのように考えるか

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
各方面での協力が進み、関係は良くなる	50	46	34	68	57
変化はない	40	45	53	19	21
利害が対立し、関係は悪化する	8	3	2	11	7
その他(分からない、無回答含む)	2	6	11	2	15

(注) 過去2回の設問から、選択肢を変更。

フランスを除き「各方面での協力が進み、関係はよくなる」が第一位の割合を占め、フランスにおいても第二位。但し、前二回の調査と比較し、その割合は、「利害が対立し、関係は悪化する」の割合とともに低下。「変化はない」の割合が高くなっている。

質問 1 2 : EU域内の経済統合の進展は、日・EU関係に主にどのような影響を及ぼしていると考えるか(複数回答可)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
日本と比較してEUの世界経済における重要性が増す	83	83	48	36	44
日本の対EU投資を誘発	51	72	29	45	34
双方向の貿易を拡大	52	76	51	18	44
日・EU間に緊張をもたらす	9	20	23	8	18
変化なし	45	18	8	8	5
その他(分からない、無回答含む)	0	0	6	1	10

(注) 過去2回の設問から、選択肢を変更。

「EUの世界経済における重要性が増す」との回答多く、また、「日本の対EU投資を誘発」、「双方向の貿易を拡大」との日EU関係が進展する旨の回答が多い。

質問 1 3 : 良好な日・EU関係のために何が最も必要と考えるか

(単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
政治・安全保障面での協力関係を深めるべき	13 (19) (13)	17 (29) (60)	7 (8) (12)	9 (11) (11)	16 (20) (21)
文化交流の面で関係を深めるべき	5 (25) (5)	19 (15) (33)	20 (7) (7)	20 (17) (14)	8 (19) (17)
双方向の貿易・投資問題の解決を図るべき	50 (33) (52)	37 (60) (77)	21 (58) (60)	15 (18) (26)	25 (49) (65)
産業協力や科学技術協力を深めるべき	17 (22) (19)	16 (41) (58)	15 (20) (17)	28 (32) (26)	21 (44) (41)
環境・援助等国际協力の分野での協力を深めるべき	11 (25) (16)	6 (24) (59)	11 (5) (1)	25 (19) (19)	25 (22) (33)
現状のままでよい	0 (22) (1)	5 (3) (1)	2 (1) (3)	3 (3) (1)	5 (1) (1)
その他(分からない、無回答含む)	4 (0) (0)		24 (1) (0)		0 (0) (0)

イタリアを除く4カ国において、「双方向の貿易・投資問題の解決を図るべき」との回答が第一位。イタリアでは、「産業協力や科学技術協力を深めるべき」が第一位。オランダでは、「環境・援助等国际協力の分野での協力を深めるべき」も同率一位。

質問 1 4 : 2001年からの10年間で「日欧協力の10年」であることを知っているか

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
よく知っている	6	1	1	12	0
多少知っている	31	9	18		5
聞いたことがある		20			29
知らなかった	64	70	78	78	65
その他(分からない、無回答含む)	0	0	3	10	0

全ての国において6割半ばから8割近くまでが「知らなかった」との回答。

質問 1 5 : 「日欧協力の10年」を具体化する「日・EU協力のための行動計画」について知っているか

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
よく知っている	1	0	1	7	0
多少知っている	23	6	14		5
聞いたことがある		11			23
知らなかった	76	83	84	93	71
その他(分からない、無回答含む)	0	0	1	0	0

全ての国において7割から9割以上が「知らなかった」との回答。

質問 16 : 日・EU間の各種協力・協議の内容等は、自国で十分に紹介され、理解されていると思うか
 (単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
十分、または相当程度紹介され、理解されている	0 (8) (5)	24 (2) (9)	2 (2) (5)	7 (2) (3)	2 (2) (5)
あまり紹介されず、あまり理解もされていない	30 (33) (51)	61 (55) (63)	57 (63) (69)	35 (37) (58)	37 (57) (54)
殆ど紹介されず、殆ど理解されていない	69 (32) (35)	13 (38) (27)	36 (32) (25)	56 (60) (38)	43 (26) (25)
その他(分からない、無回答含む)	0 (27) (9)	2 (5) (1)	5 (3) (1)	2 (1) (1)	19 (15) (16)

「あまり理解されていない」、「殆ど理解されていない」の回答が多い。ドイツのみ「理解されている」が二桁台の24%。

質問 17 : EU各加盟国と日本の二国間で協力を進めることが適当と考える分野はどれか

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
経済・ビジネス	60	25	19	32	50
外交	9	6	5	9	7
安全保障	0	5	1	7	6
文化交流	5	14	22	10	8
科学技術	8	13	18	29	18
環境分野	17	10	13	11	8
その他(分からない、無回答含む)	1	27	22	2	3

(注) 過去2回の設問から選択肢を変更。

各国とも「経済・ビジネス」との回答多い。フランスで「文化交流」、イタリアで「科学技術」の割合が高い。

質問 18 : ビジネス上、日本は直接投資の対象として魅力があるか

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
大変魅力がある	9	16	6	63	7
魅力はあるが進出しにくい	62	51 「魅力がある」の選択肢	52 「魅力がある」の選択肢	「魅力がある」の選択肢	58
あまり魅力的でない	18	19	31	-	27
魅力的でない	6	5	6	-	8
その他（分からない、無回答含む）	5	9	5	37	-

(注) 過去 2 回本設問無し。

ドイツ及びフランスに関しては、「魅力はあるが進出しにくい」でなく「魅力がある」の選択肢。

イタリアは「魅力がある」の選択肢。

質問 19 : E U から日本への直接投資を拡大するために何が必要と考えるか（複数回答可）

(単位%、左括弧内は前回(平成 8 年)、右括弧内は前々回(平成 5 年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
E U の企業による努力	13	25	26	23	27
E U における貯蓄の増加	3	16	3	4	2
日本市場に関する信頼できる情報の提供	18	44	46	51	54
日本における規制緩和乃至規制の明確化	34	59	38	22	50
日本政府・自治体による投資優遇措置	23	31	47	31	38
その他（分からない、無回答含む）	0	14	1	4	6

(注) 過去 2 回本設問無し。

「日本市場に関する信頼できる情報の提供」、「日本市場における規制緩和乃至規制の明確化」、「日本政府・自治体による投資優遇措置」と要因を日本側に求める回答が多い。また、その他の例示として、フランスで「日本経済の再建」等。

質問 2 0 : 日本・E U・米国の経済関係のあり方についてどう考えるか

(単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
日本・E U・米国は重要な自由貿易主義国であり、それぞれ互いに協力すべき	80 (48) (85)	64 (79) (88)	26 (39) (60)	48 (48) (47)	72 (80) (88)
E Uは米との関係を緊密にすべきだが、日本との関係はそれ程重要でないので、今の程度を維持すればよい	8 (8) (2)	8 (2) (0)	2 (2) (3)	4 (4) (5)	1 (3) (3)
日本は米との関係ばかりを考えているようだが、E Uとの関係も深めるべき	6 (17) (6)	8 (19) (6)	47 (43) (30)	25 (26) (26)	13 (13) (10)
E Uと日本は、米のような強国と対抗するため協力すべき	3 (10) (3)	15 (6) (2)	21 (13) (5)	21 (18) (16)	10 (5) (2)
その他(分からない、無回答含む)	3 (15) (3)	5 (3) (4)	4 (3) (2)	2 (4) (6)	4 (2) (1)

フランスを除く4カ国において、前回及び前々回に引き続き、「日本・E U・米国は重要な自由貿易主義国であり、それぞれ互いに協力すべき」が第一位。フランスでは「日本は米との関係ばかりを考えているようだが、E Uとの関係も深めるべき」が第一位。各国回答とも「日本との関係は、それ程重要でない」は少なく日本との経済関係の重要性は認識されているものと思われる。

質問 2 1 : 日本・E U・中国の経済関係の在り方についてどう考えるか

(単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ドイ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
E U・日本・中国はそれぞれ互いに重要なパートナーとして協力すべき	79	66	69	65	76
E Uは中国との関係を緊密にすべき	8	8	6	11	3
E Uは中国よりも日本との関係を緊密にすべき	7	12	7	-	6
E Uと日本は中国の経済的な台頭に対抗するため協力すべき	4	6	14	20	10
その他(分からない、無回答を含む)	2	8	4	4	5

(注) 過去2回本設問無し。イタリアに関しては、「E Uは中国よりも日本との関係を緊密にすべき」の選択肢無し。

全ての国において、「E U・日本・中国はそれぞれ互いに重要なパートナーとして協力すべき」が第一位。

質問 2 2 : E U の貿易経済交流の相手として重要な地域はどれか

(単位%、左括弧内は前回(平成8年)、右括弧内は前々回(平成5年)調査数値)

事 項 / 国 名	英 国	ド イ ツ	フ ラ ンス	イ タ リ ア	オ ラ ン ダ
E U 諸 国	29	63	58	25	59
E F T A (欧 州 自 由 貿 易 連 合)			5		
E U 加 盟 候 補 国	7	6	10	24 「東欧」との 選択肢	6
北 米	48	13	11	12	28
日 本	3	1	1	4	4
ロ シ ア	0	2	3	2	0
中 国	4	4	4	10	2
開 発 途 上 国	4	1	-	18	1
そ の 他 (分 か ら な い 、 無 回 答 を 含 む)	1	10	7	5	-

(注) フランスに関しては、「開発途上国」の選択肢なし。イタリアに関しては、選択肢の「EU加盟候補国」は「東欧」。

「EU諸国・EFTA」及び「北米」の割合高く、いずれの国も「日本」との回答は少なかった。